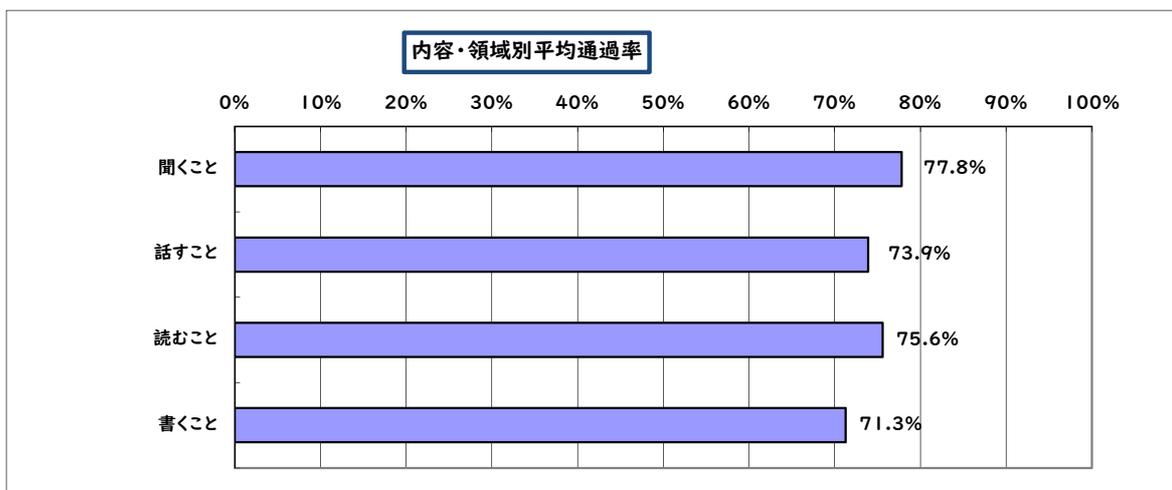
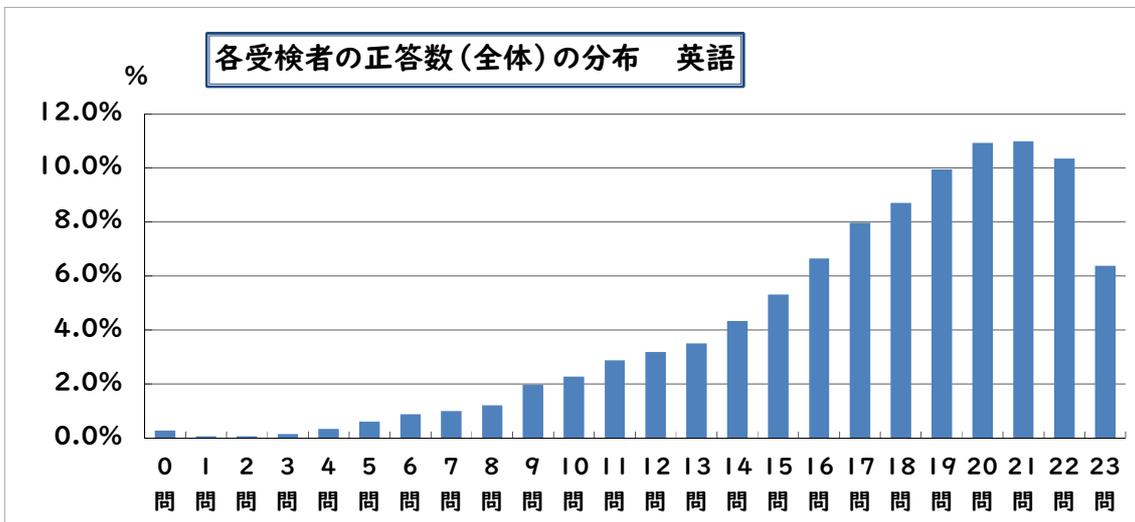


中学校第1学年【英語】

(1) 中1平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		中1	中2
	知識・技能	74.9%	73.7%
	思考・判断・表現	76.8%	58.4%
	全体	75.7%	67.8%



- 「知識・技能」については、平均通過率が80%を越えたのは14問中5問で、平均通過率が74.9%と全体として成果が見られつつあります。一方で、日付を正確に聞き取る問題は50.3%、勧誘を断る表現を選択する問題は40.9%、対話の流れから適切な語を補って文を完成させる問題は54.7%と通過率が特に低く、例年課題としている内容について改善が見られない部分もあり、課題が固定化しているものも見られます。
- 「思考・判断・表現」については、平均通過率が50%を越えたのは9問中9問で、平均通過率が76.8%と全体として改善傾向にあります。一方で、英文の要点を把握し、適切な英文を選択する問題は63.8%、書くことの問題におけるコミュニケーションに支障をきたさないように英文を書く視点は58.7%と通過率が特に低く、課題が浮き彫りになっています。特に書くことについては、例年課題としているポイントであり、具体的な指導改善が必要です。

(2) 各設問の分類と平均通過率

英語（中学校第1学年）

	設問			出題学年	学習指導要領の領域				評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図
	大問	中間	小問		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	通過率	無解答率	通過率	無解答率	
1		(1)		中1	○				○		94.2%	0.0%			英語を聞いて、ノートを開ける指示を聞き取ることができるか。
2	1	(2)		中1	○				○		91.0%	0.0%			英語を聞いて、複数のものの数とその場所を聞き取ることができるか。
3		(3)		中1	○				○		50.3%	0.1%			英語を聞いて、正しい日付を聞き取ることができるか。
4		(1)		中1	○	○			○		80.6%	0.1%			好みを尋ねる質問に正しく答えることができるか。
5	2	(2)		中1	○	○			○		86.8%	0.1%			数を尋ねる質問に正しく答えることができるか。
6		(3)		中1	○	○			○		40.9%	0.1%			勧誘に対して適切に答えることができるか。
7	3			中1	○				○		77.5%	0.1%			メッセージを聞いて必要な情報を聞き取ることができるか。
8	4			中1	○	○			○		78.4%	0.1%			対話の流れに沿って適切な質問を選択することができるか。
9		(1)		中1	○				○		95.3%	0.3%			自己紹介を聞いて、その内容を整理して捉えることができるか。
10	5	(2)		中1	○	○			○		83.3%	4.2%			捉えた内容について適切に応じることができるか。
11	6			中1			○		○		79.0%	0.2%			メッセージの内容を把握し、適切なポスターを選択することができるか。
12		(1)		中1			○		○		79.0%	0.2%			対話文の内容を把握し、代名詞が指す適切な語を選択することができるか。
13	7	(2)		中1			○		○		72.2%	0.2%			ポスターの内容を読み取り、タイトルとしてふさわしい英文を選択することができるか。
14		(1)	①	中1		○	○		○		75.8%	0.3%			対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う疑問文を選択することができるか。
15	8		②	中1		○	○		○		84.2%	0.3%			対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う疑問文を選択することができるか。
16		(2)		中1			○		○		79.5%	0.4%			英文の概要を把握し、適切な語を選ぶことができるか。
17	9			中1			○		○		63.8%	0.6%			英文の要点を把握し、適切な英文を選択することができるか。
18	10			中1			○	○	○		71.2%	6.3%			書かれた内容に対して、話の内容を捉え、自分の考えを示すことができるか。
19		(1)		中1		○		○	○		75.3%	0.7%			be動詞の否定文を正しい語順で答えることができるか。
20	11	(2)		中1		○		○	○		78.6%	0.8%			疑問詞を含む疑問文を正しい語順で答えることができるか。
21	12			中1		○		○	○		54.7%	4.9%			対話の流れから判断し、適切な語を補って表現できるか。
22			A	中1					○		89.6%	3.3%			文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことができるか。
23	13		B						○		58.7%	3.3%			
計				問題数	10	10	8	6	14	9					
				出題割合	40.0%	40.0%	32.0%	24.0%	60.9%	39.1%					
											75.7%	1.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	

(3) 英語 <中学校第1学年>

ア 特徴ある問題から 大問9

(中学校学習指導要領〔外国語編〕P21 第2, 1, (2), ウと関連)

学習指導要領解説の該当箇所に、「社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。」とあります。本問題では、ラオスで生活する子供たちの学校事情を話題とし、要点を踏まえて現地の子供たちの心情を捉えられるかについて出題したところ、平均通過率が 63.8%でした。下の解答のポイントや誤答傾向を踏まえ、内容理解や音読をさせる際に課題があると考えられます。それらを改善するためのポイントを下の「イ」にまとめました。

問題は、両者の時間を「My hero」というテーマでスピーチをすることになった。(Hinata) が作成したスピーチの抜粋です。空白に入る最も適切な英文全文下のア～エの中から一つ選び、その番号を書きなさい。

Hello, everyone.  
Please look at this picture. This is my grandfather. He is my mother's father. His name is Ando Masato. He is seventy. He lives in Laos now. I heard about Laos from my grandfather. Do you know about Laos?  
Some children in Laos can't go to school. They don't have schools near their houses and they help their families every day. They want to study, but they can't.  
My grandfather likes children very much. He plays the guitar and sings songs well. He is a music teacher for them. Many children come to his house. Everyone sings and dances with a smile. He enjoys his life in Laos very much. I want to see him and the children in Laos someday.  
My grandfather is my hero, and he is also a hero for the children in Laos. Thank you.

① here ヒーロー grandfather 祖父 Laos ラオス人英会話 今 now 今 heard 聞いた knew 知っていた children 子どもたち near 近く help 助ける family(ies) 家族 song(s) 歌 with a smile 笑顔で He 他店 somebody いつか

ア He goes to school with me.  
イ He doesn't like music.  
ウ They are very happy.  
エ They don't want to go to school.

〔解答のポイント〕

- 1 文章の要点を読み取れたか。
- 2 選択肢の英文について、意味を捉えたか。
- 3 文脈から空欄に当てはまりそうな表現を発想できたか。

〔誤答傾向(予測)〕

- ・ まとまりのある文を読むこと自体に苦手意識がある。
- ・ それぞれの代名詞が誰を指しているのか混乱した。
- ・ 空所がある段落だけ読み、文脈を読み違えた。

二次元コードを読み取り、「県総合教育センター『学びの地図』に掲載中の鹿児島学習定着度調査解説動画」を見てみよう!

イ 授業改善のポイント

課題が見られた主な問題 大問9 リーディング問題

- 1 文頭から英語の語順で読ませる
 

英文を単語が出てくる順番で読ませる。(日本語の語順に合わせた「返り読み」をさせない。)その指導を通して、「誰が」「どうした」「何を」「いつ」などの順番で英文を理解させ、意図的に**文構造への理解**を促す。
- 2 「すべての英文の意味が分からないといけない」という意識をもたせない
 

教科書本文の内容理解をする際は、すべての英文の意味を捉えないと「分かった」ことにならないという意識を、教師も生徒ももたないことを前提とする。Top-down processingの手法などを踏まえながら、普段から「**概要**」や「**要点**」を捉える指導を徹底する。また、英文の「**読み方**」を意識した指導をする。未習部分や分からない箇所は前後や文脈から**推測**することも指導する。

課題が見られた主な問題 大問9 リーディング問題

- 3 語や文章構成等の知識を活用させる
 

語や句、連語など(so, because, on the other hand)について、意味だけではなく**文章中での働き**等を理解させ、内容理解を促す。
- 4 推論発問等を取り入れる
 

教科書本文の内容理解の際に、事実発問だけではなく**推論発問**(直接書かれていないことに関する発問)や**評価発問**(内容に対して自分はどう思うかを問う発問)に取り組み多様な読ませ方を通して深い読みをさせる。
- 5 音読を大切にする
 

教科書本文の内容理解を終えた後の**reading aloud**を充実させる。(時間が無いからと短縮しない。)複数の手法を組み合わせ、内容をよりの確に表出するような音読をさせる。

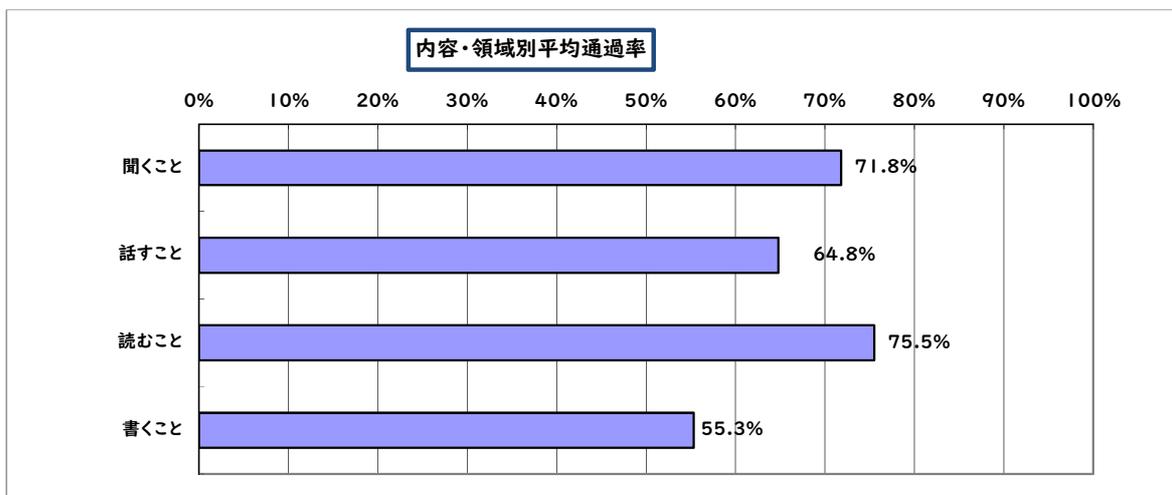
内容理解の際は、いきなり文単位で最初から意味をとろうとせず、文章全体を通した大きなもの(概要)から捉えて、次第に小さなもの(内容)を捉えていく読み方をさせましょう。その際、全ての英文を日本語に置き換える必要はありません。また、分からない箇所があったら前後から推測して読ませることに普段から取り組んでおくと効果的です。

接続詞の働きなどに注目し、全体の文章構成を把握させながらその先を推測させる活動も効果的です。また、推論発問を活用して、教科書には書いていない文章の続きや登場人物の心情について書いてあることを根拠に推測させると、行間を読ませる深い読みにつながります。音読は、内容理解の後にその内容を表出する工夫をさせると、内容理解が更に深まります。しっかり時間を確保し複数の手法(chorus, buzz, read and look up, shadowing など)を使いながら上手に読める生徒を増やしましょう。

中学校第2学年【英語】

(1) 中2平均通過率と受検者の正答数分布

学年別平均通過率		中1	中2
	知識・技能	74.9%	73.7%
	思考・判断・表現	76.8%	58.4%
	全体	75.7%	67.8%



- 「知識・技能」については、平均通過率が80%を超えたのは16問中6問で、平均通過率が73.7%と全体として成果が見られつつあります。一方で、二つの目的語をとる動詞の語順を正確に答える問題は63.7%、対話の流れから適切な語を補って文を完成させる問題は48.3%、与えられた情報に基づいて正確に英文を書く問題は42.9%と通過率が特に低く、例年課題としている内容について改善が進んでいない状況です。
- 「思考・判断・表現」については、平均通過率が50%を超えたのは10問中7問で、平均通過率が58.4%となり改善傾向にあります。一方で、聞いて把握した内容について適切な英文を書く問題は42.5%、読んで把握した内容について自分の考えを書く問題は47.4%、書くことの問題におけるコミュニケーションに支障をきたさないように英文を書く視点は25.0%と通過率が特に低く、課題が浮き彫りになっています。特に書くことについては、例年課題としているポイントであり、具体的な指導改善が必要です。

(2) 各設問の分類と平均通過率

英語（中学校第2学年）

設問	出題学年			学習指導要領の領域				評価の観点		県平均		校内平均		出題の意図
	大問	中間	小問	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	知識・技能	思考表	通過率	無解答率	通過率	無解答率	
1		(1)		中1	○				○		66.9%	0.1%		日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。
2	1	(2)		中2	○				○		86.1%	0.1%		日常的な場面における英語を聞いて、適切な絵を選択することができるか。
3		(3)		中2	○				○		93.9%	0.0%		日常的な話題に関する対話を聞いて、適切な絵を選択することができるか。
4	2			中1・2	○				○		75.1%	0.1%		まとまりのある英文の概要を捉えることができるか。
5		(1)		中1・2	○				○		68.0%	0.2%		まとまりのある英文を聞いて、必要な情報を捉えることができるか。
6	3	(2)		中1・2	○				○		70.1%	0.4%		まとまりのある英文を聞いて、必要な情報を捉えることができるか。
7	4			中2	○			○	○	42.5%	18.0%			聞いて把握した内容について、適切に応じることができるか。
8		(1)		中2			○		○		71.7%	0.2%		英文を読んで、文脈から空所に入る接続詞を適切に選択することができるか。
9	5	①		中2		○	○		○		69.7%	0.2%		文と文のつながりに注意して、適切な英文を選択することができるか。
10		②		中2		○	○		○		91.8%	0.2%		文と文のつながりに注意して、適切な英文を選択することができるか。
11		(1)		中2			○		○		81.7%	0.2%		説明文の概要を捉え、説明されているものを選択することができるか。
12	6	(2)		中2			○		○		90.2%	0.3%		説明文の内容を正確に捉え、適切な絵を選択することができるか。
13		(3)		中2			○		○		93.6%	0.3%		グラフの内容を正しく表す英文を選択することができるか。
14				中2			○		○		93.9%	0.4%		
15	7	(1)		中2			○		○		56.4%	0.4%		まとまりのある英文を読んで、文章の構成を理解することができるか。
16		(2)		中2			○		○		58.9%	0.6%		まとまりのある英文を読んで内容を把握し、適切な文を選択することができるか。
17	8			中2			○	○	○		47.4%	18.3%		書かれた内容に対して、話の内容を捉え、自分の考えを示すことができるか。
18		(1)		中2		○		○	○		79.6%	0.5%		助動詞mustの用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
19	9	(2)		中2		○		○	○		63.7%	0.5%		二つの目的語をとる動詞の用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
20		(3)		中2		○		○	○		66.6%	0.7%		不定詞の副詞的用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
21	10			中1		○		○	○		48.3%	3.8%		対話文中の空所に当てはまる表現を文脈から判断し、適切な英語を用いて表現することができるか。
22		(1)		中1		○		○	○		66.8%	4.7%		与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文や不定詞の名詞的用法などを活用しながら書くことができるか。
23	11	(2)		中1		○		○	○		53.8%	6.6%		
24		(3)		中2		○		○	○		42.9%	8.5%		
25	12	内容		中1・2				○	○		59.1%	11.9%		与えられたテーマについて、情報を整理して書いたり、構成を考えて書いたり、文と文のつながりを示す語句を用いて書いたりしようとしているか。
26		正確						○	○		25.0%	11.9%		
計				問題数	7	9	10	11	16	10				
				出題割合	33.3%	42.9%	47.6%	52.4%	61.5%	38.5%				
											67.8%	3.4%	#DIV/0!	#DIV/0!

(3) 英語 <中学校第2学年>

ア 特徴ある問題から 大問 12

(中学校学習指導要領〔外国語編〕P53 2, (2), ウと関連)

学習指導要領解説の該当箇所に身に付けさせるべき事項として、「日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。」とあります。本問題では、相手の意向に沿って自分の考えを的確に書くことができるかについて出題したところ、視点 B において平均通過率 25.0%、無答率 11.9%でした。下の解答のポイントや誤答傾向を踏まえ、言語材料の導入や言語活動の在り方、フィードバックの在り方に課題があると考えられます。それらを改善するためのポイントを下の「イ」にまとめました。

あなたの友人でイギリス人のトム (Tom) が、来年度児童会へ立候補しようとして計画しています。あなたは、メールでトムが鹿児島県旅行をできるだけ楽しめるよう、アドバイスすることになりました。下の情報をもとに、条件に従ってメールの本文を書きなさい。

**トムに関する情報**

○どの季節に鹿児島県に行くのがいいか悩んでおり、教えてほしいと思っている。  
○なぜその季節がいいのか、鹿児島県で食べられるものやできることなど、その季節が  
いい理由をこつと以上、具体的に教えてほしいと思っている。

(条件)  
※ 10 語以上の英語で書くこと。英文は 2 文以上になってもかまいません。  
※ 疑問形 (I'm や don't など) は 1 語と数え、符号 (、 や ? など) は語数に含めません。  
(例) No, I'm not. [3 語]  
※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。

Hi, Tom. I'm going to tell you my idea.

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 10

\_\_\_\_\_ 20

\_\_\_\_\_ 30

〔解答のポイント〕

- 1 書く内容について、自分なりの発想があったか。
- 2 発想した内容は適切であったか。
- 3 発想したことについて、適切な英語で表現できたか。

〔誤答傾向 (予測) 〕

- ・ 自分が書ける英語の範囲内の文が思いつかない。
- ・ 書いている内容が不自然になっている。
- ・ つづりや文法的なルールに関する事項が定着していない。



二次元コードを読み取り、「県総合教育センター『学びの地図』に掲載中の鹿児島学習定着度調査解説動画」を見てみよう!

イ 授業改善のポイント

**課題が見られた主な問題 大問 12 ライティング問題**

1 言語材料は場面や文脈の中で導入し「使い方」も理解させる

部分を取り出して形式的にルールやつづりを覚えさせるのではなく、**文脈や場面の中で「使い方」を感じられるように導入**する。その言葉のニュアンスを感じるような目的・場面・状況がある言語活動を行わせ、使う感覚を伴った習得をめざす。

2 例文を示さずに使わせる

例文を見たままいくら繰り返しても、効果的な定着は望めない。**思い出させながら繰り返し使用させる**ことが大切である。キーワード等を示す場合は、「**示しすぎ**」に注意することが必要である。始めは示していても、徐々に取り除いて最終的には自分の力で表現させることを積み上げるようにする。その際、個に応じて途中の取り組み方や最終的な表現に差があることに考慮し、個別最適な学びを意識した取組を行う。

**課題が見られた主な問題 大問 12 ライティング問題**

3 指導した単元以降の単元で使わせる際の指導を工夫する

繰り返し既習表現を使わせる視点として、次単元以降で**機を逸さないよう使わせる**ことを意識する。Task活動を行っている場合は、その中に使える場を設定する。関連する表現を扱ったり言い換えができたりする場合は少しでも触れておく。その際、形式的なことだけでなく、**ニュアンスを含む「使い方」を思い出せるような工夫**をする。

4 フィードバックを工夫し正確性を上げる

書く活動を重ねる中においては、まずは大きなエラーから自分で修正できるよう指導し次第に小さなエラーまでなくなることを目指し、徐々に正確性を上げるよう指導する。その際、**生徒の気付きを促しながら指導**し、最終的に生徒が自らエラーに気付き、修正ができるようになることを目指したフィードバック(明示的・暗示的)の工夫をする。併せて、表現の「正確さ」と「流暢さ」のバランスについては、生徒の意欲等を踏まえて上手にコントロールする。

単語や基本文はそれだけを切り離して唐突に単独で扱わずに、本文の流れの中で出会わせて、まず文脈の中で扱い、そこから必要に応じて取り出して掘り下げましょう。活動をさせる際は、始めはワークシートや○○カード等の補助があってもいいですが、徐々に取り除きながら最終的には生徒が自分で活動できるようにしましょう。示しすぎや補助の常態化は、生徒の自走の妨げになっている可能性があるため要注意です。

定着に向けては繰り返しが鍵になりますが、既習の内容は教師が工夫しないと出てこないの得意図的に繰り返しを生み出しましょう。正確性を上げ、生徒が自分で修正できることを目指して、明示的にはっきりと修正する場面や暗示的に気付かせる場面等を組み合わせるフィードバックを工夫しましょう。その際、正確さを気にする余り表現が滞ることは避けるようバランスをとることに留意しましょう。